

ホタテガイ採苗速報

全湾で成熟がピークに達してきました

平成25年2月18日～22日に湾内6地点で養殖2年貝の成熟度調査を、平成25年2月18日～20日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で24.1、東湾平均では25.1、全湾平均では24.6と、前回(それぞれ22.7、24.1、23.4)よりもやや高い状況となっています(図1～3)。また、生殖巣重量は、西湾平均で12.2g(平年11.9g)、東湾平均では10.5g(平年14.9g)となっており、東湾で生殖巣が平年よりも小さい傾向にあります。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で20.2と、前回(19.6)とほぼ同じ状況となっています(図4)。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数
蓬田村	2月18日	10.1	103.4	43.7	42.2	10.8 (11.3) 24.7 [19.8]
久栗坂実験漁場	2月18日	11.0	139.6	60.1	43.0	16.7 (14.9) 27.8 [26.6]
平内町浦田	2月18日	10.3	114.0	46.1	40.4	9.2 (10.2) 19.9 [21.5]
西湾平均		10.5	119.0	50.0	41.9	12.2 (11.9) 24.1 [22.7]
野辺地町	2月18日	10.6	127.1	55.1	43.4	14.5 (18.1) 26.3 [25.0]
むつ市	2月18日	8.5	67.9	29.6	43.5	7.9 (12.3) 26.8 [24.4]
川内町	2月22日	9.2	79.5	41.1	51.7	9.1 (13.9) 22.1 [21.2]
東湾平均		9.4	91.5	41.9	46.2	10.5 (14.9) 25.1 [24.1]
全湾平均		10.0	105.3	46.0	44.0	11.4 (13.4) 24.6 [23.4]

(): H5-H24の平年値
[]: 前回の値

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数
野辺地町	2月18日	8.8	77.4	30.7	39.7	5.5 (14.4)	17.8 [16.0]
むつ市	2月20日	11.0	126.3	52.9	42.1	12.0 (11.0)	22.5 [23.1]
東湾平均		9.9	101.9	41.8	40.9	8.8 (10.2)	20.2 [19.6]

(): H5-H24の平年値(野辺地町については参考値)
[]: 前回の値

2 海況

各ブイの2月18日～24日の平均水温は表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイ、青森ブイ、東湾ブイの15m層でいずれも平年並みとなっています。

表3 各ブイの1週間(2/18～24)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	7.6～8.2	東湾ブイ	3.8～3.9	横浜ブイ	3.3～3.4
蓬田ブイ	6.7～7.2	東田沢ブイ	5.4～5.7	浜奥内ブイ	-
奥内ブイ	-	清水川ブイ	5.4～5.5	川内ブイ	2.6～2.8
青森ブイ	6.1～6.2	野辺地ブイ	-	脇野沢ブイ	3.3～3.5

※奥内、野辺地、浜奥内ブイはメンテナンスのため、欠測

3 今後の見込み

全湾で成熟はピークに達してきました。今後、急激に水温が上昇すると、産卵が始まる可能性があります。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

また、西湾では親貝数が東湾より少ないこと、東湾では親貝が例年より小型で生殖巣も小さい傾向にあり、貝1枚当りの産卵数が例年より少ないと予測されることから、ラーバの出現数が少ない可能性がありますので、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

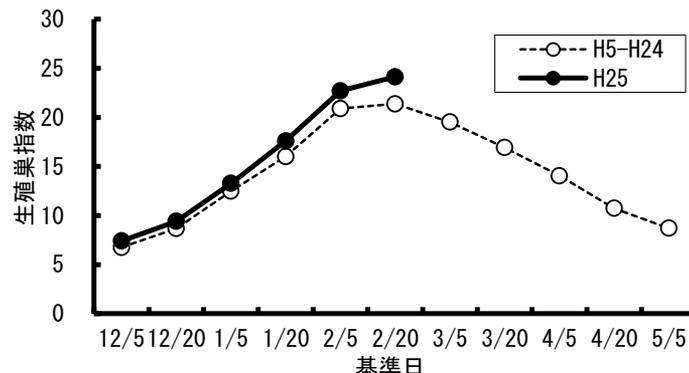


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

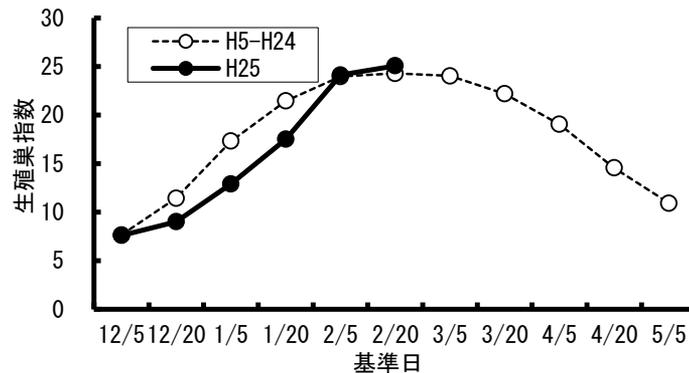


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

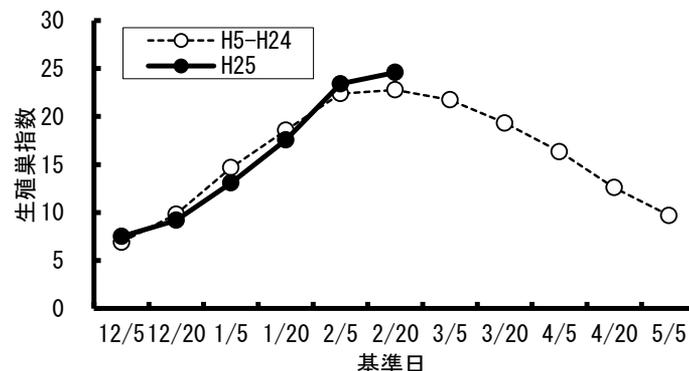


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(全湾平均)

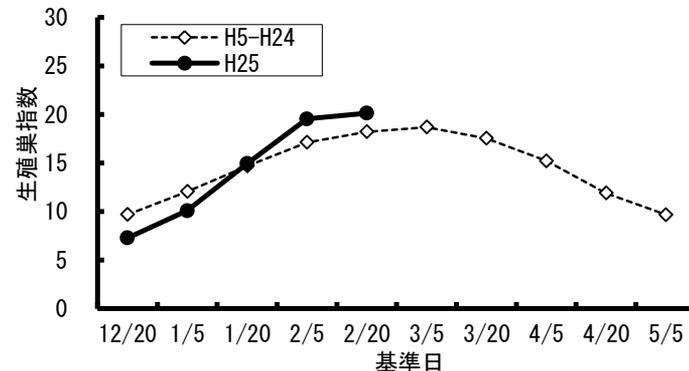


図4 地まき貝の生殖巣指数の推移

